

18. 令和2年度大分県高等学校新人ボート競技大会実施要項

- 1 期 日 令和2年 10月 17日 (土) 午前中 リギング・配艇練習
12:00 ～ 開会式
13:00 ～ 競技
10月 18日 (日) 9:20 ～ 競技
レース後 閉会式
- 2 会 場 日田市夜明ボートコース
- 3 競技規則 令和2年度(社)日本ボート協会競漕規則による。
- 4 競技種目 男子 舵手付クォドルプル、ダブルスカル、シングルスカル
女子 舵手付クォドルプル、ダブルスカル、シングルスカル
- 5 競技方法 距離は全種目とも2,000m。1日目平均タイムで翌日のアドバンテージを決める。
2日目に決勝。
- 6 参加資格 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 7 参加制限 各種目とも1人1種目とする。
ア.(男女)舵手付クォドルプル 監督1名・選手5名・補欠2名以内
イ.(男女)ダブルスカル 監督1名・選手2名・補欠1名以内
ウ.(男女)シングルスカル 監督1名・選手1名
- 8 参加申込 (1)期限 令和2年 10月 2日 (金) 必着
(2)方法 申込用紙は高体連ホームページから入手し、下記により期限内に行う。
ア. 様式に男・女・種目を別紙で作成し、各1部印刷・捺印して下記に郵送する。
イ. 校長の承認を得た申込電子データはメールで送信する。(ファイル名:競技名/校名/監督名)
***大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。**
(3)宛先 〒877-0000 日田市大字友田1546-1 日田三隈高等学校内
専門委員長 江藤 季香 あて
etou-hideka@oen.ed.jp <データ送信期限:10月2日(金) 12:00必着 >
- 9 参加負担金 選手1人(補欠を含むエントリー) 600円。非加盟校は1000円。大会当日の受付で納入する。
- 10 出場権の獲得 男女とも全種目について、1・2位のクルーに全国選抜ボート大会九州地区予選への出場権を与える。
- 11 連絡事項 (1)使用艇は、大分県高等学校体育連盟ボート競技専門部で準備する。
(2)オールは、いずれもクルーで準備すること。
(3)ユニフォームは各クルーで統一し、県名・学校名を明記すること。
- 12 感染症等の対策 (1)感染症等の対策については、別紙に掲げる周囲事項を遵守すること。
(2)競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。
(3)今大会は、無観客(部員のみ)で開催する。

感染症等の対策に関する留意事項について

ボート競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 ボート競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけん消毒液を設置する。
- ・更衣室、控室等は、前後の窓など常に開放し換気を行う。
- ・更衣室や控室等は、利用人数・時間を制限する。
- ・その他、窓や扉がある場所については、常時開放し換気を行う。
- ・競技中以外は、マスクの着用を義務とする。
- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着させる。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m空けさせる。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチ・握手などは禁止する。
- ・気合いれの発声や円陣は禁止する。
- ・競技役員、補助員等の座席は、できるだけ2mの距離を保つ。
- ・会場で人との接触を減らすために、選手、役員等の導線を区分する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰ること。
- ・ベンチは、使用した学校で消毒する。
- ・競技用具などの共有物は、本部で消毒をする。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。

【選手・役員・保護者等】

《密閉》

- ・更衣室、控室等は、前後の窓など常に開放し換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用人数・時間を制限する場合もあるので注意すること。
- ・その他、窓や扉がある場所については、常時開放し換気を行うので協力すること。

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2 m保つこと。
- ・競技中において、味方同士でのハイタッチ・握手などは禁止する。
- ・気合いれの発声や円陣は禁止する。

《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2 mの距離を保つこと。
- ・会場で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分するので注意すること。

18 ボート競技会場レイアウト



▲ 消毒液

